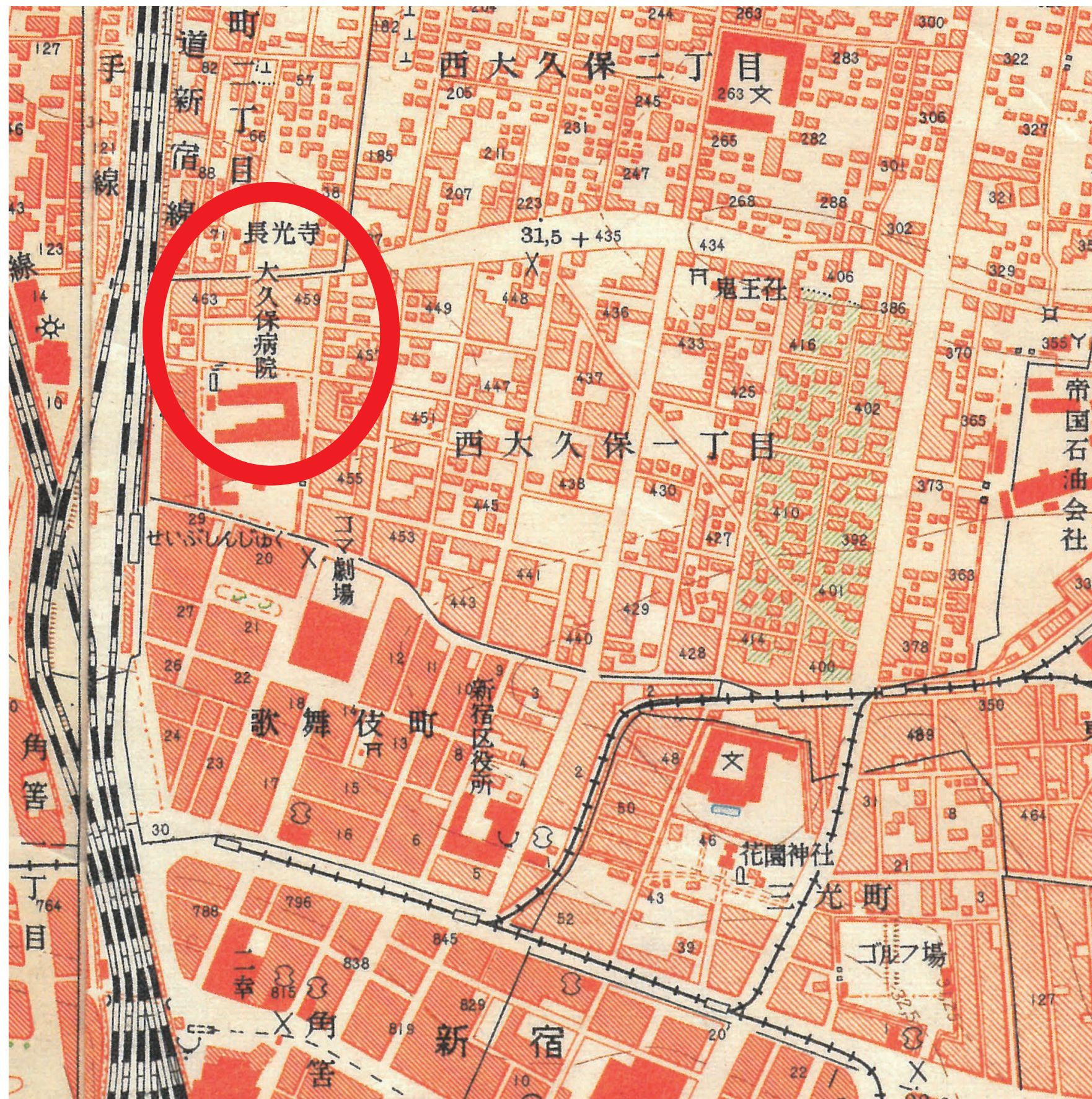


地図で見るハイジア・大久保病院と歌舞伎町（3）

《昭和・戦後の地図》（1）

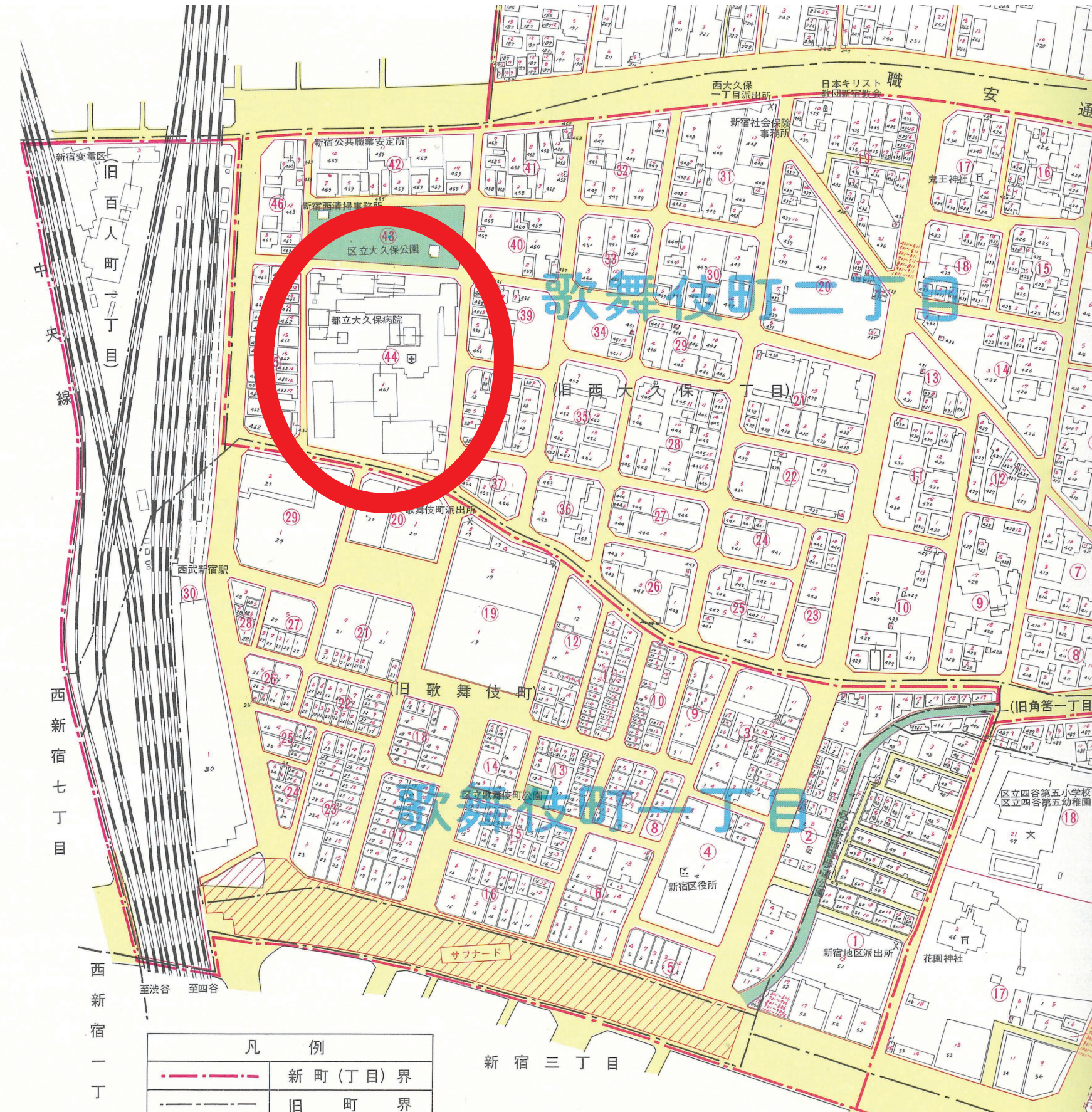
【昭和 32 年（1957 年）当時の地図】



（出典）「建設省地理調査所地図」（建設省）

《昭和・戦後の地図》（2）

【住居表示変更時・昭和 52 年（1977 年）の地図】



（出典）「住居表示新旧対照案内図」（新宿区）

《現在の地図》

【現在・令和 6 年（2024 年）の地図】



（出典）「新宿区地図・令和6年版」（新宿区）

【地図】

- 昭和 32 年当時の歌舞伎町地域の地図（開業 78 年目）

【病院】

- 焼け残った本館中心に稼働していましたが、職安通りに面した部分が縮小し、また区画整理により、昭和 25 年に大久保公園部分が縮小されました。

【地域】

- 昭和 22 年に淀橋区・四谷区・牛込区が合併して、東京都新宿区が誕生しました。区役所は当初、旧牛込区役所にありましたが、昭和 25 年に歌舞伎町に移転しました。
- 昭和 23 年に歌舞伎町が誕生しました。地域は現 1 丁目地域でした。
- 歌舞伎町発展につながる交通インフラの整備が進みました。
《都電》⇒ 新宿通りから靖国通りへの移設（昭和 24 年）
《西武新宿駅》の誘致 ⇒ 高田馬場からの延伸（昭和 27 年）
- 1950 年代には興行街に映画館やスケートリンクができ、広場に「レインボーガーデン」が整備されました。若者が集まる場所として認知されるようになり、やがて東洋一の歓楽街に発展しました。

【参考】歌舞伎町について

元は角筈 1 丁目。戦災復興事業として歌舞伎座の誘致を目指し昭和 23 年に誕生。町名はその名残。
誘致は実現しなかったが、映画館が次々と誕生し、日本有数の繁華街に発展 「新宿区創立 70 周年記念誌」より

（出典）新宿区創立 70 周年記念誌（新宿区）



「レインボーガーデン」（昭和 30 年代）
（提供）（株）東急レクリエーション

【地図】

- 住居表示が変更された昭和 52 年当時の歌舞伎町地域の新旧対照地図（開業 98 年目）
- 「西大久保 1 丁目」だった病院の住居表示が、昭和 53 年に「歌舞伎町 2 丁目」に変更され、初めて歌舞伎町になりました。
- これに伴い、病院の住居表示も「新宿区西大久保 1-459」から、現在の「新宿区歌舞伎町 2-44-1」に変更になりました。

【病院】

- 相次ぐ増改築により、機能充実が図られましたが、建物が敷地一杯に建ち、複雑に入り組んだ構造となりました。

【地域】

- 興行街は昭和 30 年代までに整備され、そのまま発展しました。
- 「レインボーガーデン」が昭和 48 年、「ヤングスポット」に改修されました。



「ヤングスポット」（昭和 40 年代）
（提供）（株）東急レクリエーション

【地図】

- 現在（令和 6 年）の歌舞伎町地域の地図（開業 145 年目）

【病院】

- 全面改築のため、昭和 62 年（1987 年）に休止・解体され、平成 5 年（1993 年）にハイジアの中の病院棟として建替えられました。2 棟のうち、東側が病院棟で、18 階建ての高層病院に生まれ変わりました。

【地域】

- 興行街も老朽化や映画館閉鎖等に伴い、再整備されました。高層化が進み大型ホテルも建設され、世界中から多くの人が集う多文化の街として、めざましく発展中です。
《コマ劇場》⇒ 東宝ビル（平成 27 年）
《ミラノ座》⇒ 東急歌舞伎町タワー（令和 5 年）
《第 1 東亜ビル》⇒ アパホテル（平成 27 年）
- 広場も平成 19 年に「シネシティ広場」として再整備されました。その後、平成 28 年にフラット化され、各種のイベントが開催されています。



「シネシティ広場」（令和 6 年）